

大学教育の質保証 ④

グローバルに活躍できる人材の育成をめざして

大学院教育強化推進センター／高大接続・全学教育推進センター 市村 光之

企業の海外進出の進展に伴い、「グローバル人材」の育成が求められるようになり、約10年が経ちました。しかし、一般には、英語が堪能で海外経験豊かな人という矮小化されたグローバル人材像が流通しています。大学教育においても、英語を中心に語学教育の強化および留学等の海外体験の促進をもってグローバル人材養成策とする傾向があります。学生たちも、グローバル人材＝英語力＝TOEICで何点取ればよいか？と短絡的に考えがちです。

では、海外で、または外国人との協業で必要となる要件とはどのようなもので、大学教育において取るべき育成策はどのようなことなのでしょう。高大センターでは、過去5年に渡り海外駐在員へのインタビュー調査を続け、グローバル人材要件の特定と育成策の整理に努めてきました。今回はその取り纏め報告になります。

グローバル人材の要件の核心は英語力ではない

企業の駐在員を中心に19か国、104名にインタビュー調査した結果をまとめたものが図1です。日本人が海外

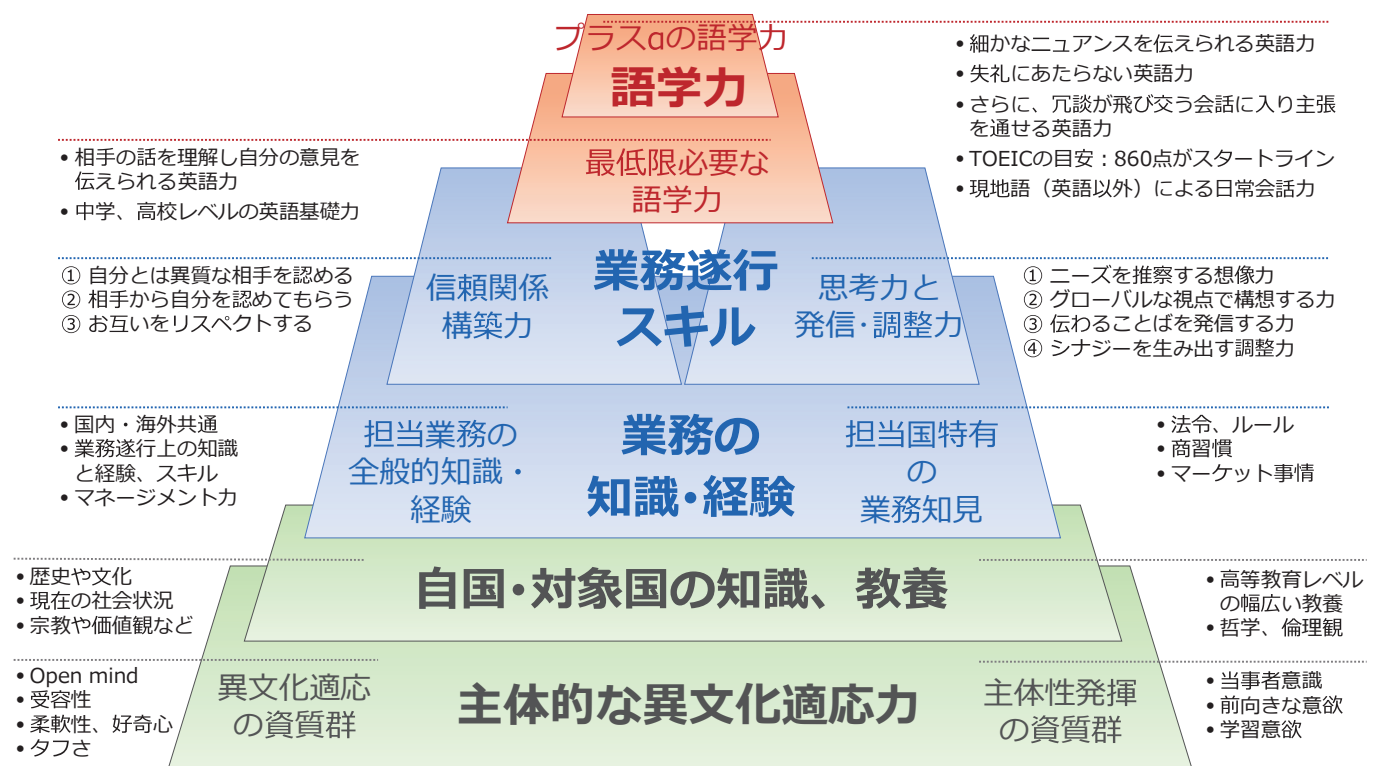
に駐在する際、または外国人と協業する際、ビジネス上の共通言語として英語が必要です。ただし、語学力はツールに過ぎません。語るべきコンテンツを作るのは担当業務に関する知識・経験と、論理的思考力と発信力、調整力であり、異文化の相手と協業する上で信頼関係を構築する力が伴わなければ難しいのです。それら一連の活動を支えるのが異文化環境に適応し主体的に行動するための資質群と、幅広い知識や教養です。

これが海外経験のある社会人へのインタビューから立ち現れた「肌感覚」のグローバル人材要件であり、グローバルに活躍するためにカギを握る要件は、語学力以外のところにあります。

主体的な異文化適応の資質と論理的思考力の強化を

外国語は語学として学ぶことが可能であり、中学・高校レベルの基礎力があれば、あとは場数を踏むことで意思疎通が図れるようになります。一方、グローバル人材の土台を成す異文化に主体的に適応するための資質群は、教室で知識として学ぶだけで身につくものでもあり

図1：グローバル人材要件：資質と知識・教養＋業務の知識・経験・スキル＋語学



ません。学生個人々の学業および大学内/外の活動を通じて、さまざまな体験が経験化されてゆっくり培われるものです。一朝一夕には身につかないものだからこそ、教育する側として厄介なテーマでもあります。

では、異文化に主体的に適應するための資質をはじめ、論理的思考力などのジェネリック・スキルを鍛えるために、我々大学人はどうすればよいのでしょうか。留学など海外体験は、国内外を問わず多文化社会で共生する意味を考える上で学生たちに貴重な機会となります。しかし、留学時期・期間や費用、必要な語学力などがネックとなり留学を躊躇する学生が少なからずいます。

功罪は置くとして、少子高齢化に伴い国内における海外人材の活用も進んでいます。学生の内向き志向が課題視される昨今ですが、外国人との付き合いを真剣に考えなければならぬ時期に来ています。異文化理解の科目や留学生との交流など、海外に学生を送り出す前に、学内ですべきこと、できることもあるはずです。

インタビュー調査では、海外で活躍できる人材を育成するために大学教育に何を求めるか、海外駐在体験に基づく意見を求めました。図2は、その結果をまとめたものです。その中に新奇なものは見当たりません。すべて古くて新しい課題ばかりです。

異文化に主体的に適應するための資質や、課題へのアプローチ方法としての論理的・批判的思考力、他者と議論しよりよい解を導く発信・調整力は、国内を含め多文

化環境が拡大し、想定外のことが常に起きうる現代社会をよりよく生き、かつ社会に貢献するための教養知、実践知と言えます。

これらは、キャリア教育等の特定科目や、留学等の海外体験のみで養成できるものではありません。各専門課程、各科目での学問研究の掘り下げ、卒論研究やゼミナールでの切磋琢磨など、大学本来の学問探求を通じて、《地道に》培う能力ではないでしょうか。

なお、本件の詳細な報告書は下記より公開しています(本学関係者のみ)。ぜひご一読ください。

サイボウズのファイル管理を開く

高大接続・全学教育推進センター > 産業界ニーズ調査 > グローバル人材調査と順に開く

グローバル人材要件の詳細については、下記の拙論をご参照ください。

市村光之. (2018). 海外で活躍する「グローバル人材」に求められる要件の構造
グローバル人材育成教育研究, 第5巻第2号

市村光之. (2019). 海外で活躍する「グローバル人材」に求められる要件の実相
グローバル人材育成教育研究, 第7巻第1号

図2：グローバル人材を育成するために大学教育に求められること

